

中学生・高校生向け金融教育

標準講義資料「大人になる前に知っておきたいお金の話」 の特徴と活用事例について

(中学生向け)

大人になる前に
知っておきたいお金の話

J-FLEC
金融経済教育推進機構

本資料は、金融経済教育推進機構（J-FLEC）が作成したものです。本資料は、中立・公正な立場から金融リテラシー・マップに沿った金融経済教育を実施することを目的としており、特定の金融商品の勧誘を意図していません。J-FLECは、インターネットを通じて提供されている情報を含め、信頼性が高いとみなされる情報等に基づいて本資料を作成しております。しかしながら、当該情報が正確である事を保証するものではありません。また、当該意見・見直しは、将来予告なしに変更される事があります。本資料の無断転用・転載・使用を禁じます。

(高校生向け)

大人になる前に
知っておきたいお金の話

J-FLEC
金融経済教育推進機構

本資料は、金融経済教育推進機構（J-FLEC）が作成したものです。本資料は、中立・公正な立場から金融リテラシー・マップに沿った金融経済教育を実施することを目的としており、特定の金融商品の勧誘を意図していません。J-FLECは、インターネットを通じて提供されている情報を含め、信頼性が高いとみなされる情報等に基づいて本資料を作成しております。しかしながら、当該情報が正確である事を保証するものではありません。また、当該意見・見直しは、将来予告なしに変更される事があります。本資料の無断転用・転載・使用を禁じます。

中学生・高校生向け金融教育

標準講義資料「大人になる前に知っておきたいお金の話」 の特徴と活用事例について

J-FLEC(金融経済教育推進機構)

標準講義資料(中学生向け)

URL:https://www.j-flec.go.jp/materials/standard_juniorhighschool/

標準講義資料(高校生向け)

URL:https://www.j-flec.go.jp/materials/standard_highschool/

「お金の知識を あなたの力に」をキャッチフレーズに活動しているJ-FLEC(金融経済教育推進機構)(以下J-FLEC)は、「金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律」に基づき、2024年4月に設立された金融庁所管の認可法人です。

小学生～60代以上シニア層を対象に、各年代で最低限身に付けるべき金融リテラシーについて学べる合計10種類の教材(標準講義資料)等を制作しており、出張授業も2024年10月から本格開始しました。

本記事では中学生、高校生向け教材の特徴、取組事例について紹介します。

大人になる前に身に付けたい 金融リテラシーのイロハを学べる年齢別教材

——J-FLECの活動、お取組について教えてください。

J-FLECは、官民一体となって金融経済教育を推進するため2024年4月に設立された金融庁所管の認可法人です。国民一人ひとりが、より自立的で安心かつ豊かな生活を実現できるよう、誰一人取り残さず、定期的に金融経済教育を受けられる機会を国民全体に広く提供していくための取組として、全国に講師を派遣し、金融経済に関する無料の出張授業等を行っています。

——「大人になる前に知っておきたいお金の話」制作の背景やその概要について教えてください。

「大人になる前に知っておきたいお金の話」(以下本教材)は、中学生向け、高校生向けの2種類があり、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシー(お金に関する知識・判断力)を体系的に整理した「金融リテラシー・マップ(*1)」に沿った教材となっています。

本教材では、家計管理や生活設計の基本、お金の貯め方のコツ、資産形成と経済活動の関係性、クレジットの仕組みや注意点、金融トラブルを避けるポイントやトラブルに巻き込まれた時の対応などが学べるようになっていますが、中学生向けは、働くことの意味や社会との関連性についても学べる内容になっています。

高校生向けはさらに一歩進んで、社会人として自立するための基礎的な能力を養うという観点から、自身のライフプランを考えることの重要性を説明するとともに、給与明細の見方やお金を貯めやすくする方法に加え、長期・積立・分散投資、NISA(少額投資非課税制度)などの資産形成の基本や支援制度、社会保険、奨学金などについて学べる内容になっています。

(*1)「最低限身に付けるべき金融リテラシー」を、年齢層別に、体系的かつ具体的に記したものであり、金融経済教育推進会議が制作。

資料:金融リテラシー・マップ(2023年6月改訂版)

URL:<https://x.gd/2ApPm>

J-FLEC ③ ニーズとウォンツ

20

○お金の使い方を考える時は『優先順位』をつけましょう。

1. ニーズとウォンツを区別する。

- ー必要なもの・こと (Needs : ニーズ)
- ー欲しいもの・やりたいこと (Wants : ウォンツ)



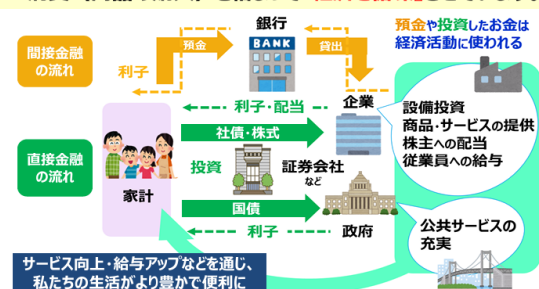
2. お金を使うときには「ニーズ(必要なもの)」を優先しましょう
3. ウォンツの中でも優先順位をつけてお金を使いましょう。

© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

J-FLEC ④ 資産形成と経済活動の関係性

32

○資産形成(預貯金・投資)は、『経済活動を支える』ことで、消費(商品の購入)と相まって『経済を循環』させています。



© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

J-FLEC ⑦ 金融トラブルに対する鉄則

94

○金融トラブルを避けるための鉄則は3点です。

①『おいしい話には気をつける』。

「ローリスク・ハイリターン」はあり得ません。＝「おいしい話」は存在しません。

②向こうから近寄ってきて、『怪しいと思ったらはっきり断る』。

「今だけ」「あなただけ」には要注意。遠慮せずに「いりません」と断りましょう。

③万が一『トラブルに遭ってしまっても、決して諦めない』。

ひとりで悩まず、早めに適切な相手に相談することで解決策が見えてきます。

© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

「大人になる前に知っておきたいお金の話」の特徴と工夫ポイント

POINT1 授業2コマ分を想定したボリュームと重要スライドに★マークを配置

J-FLEC ① 成年年齢の引き下げと金融リテラシー 6★

○2022年4月から『**成年年齢が18歳に引き下げ**』られました。

18歳からできるようになること

保護者の同意がなくても契約可能

- 携帯電話を契約する
- 一人暮らしの部屋を借りる
- クレジットカードをつくる
- ローンを組む

注意点

(2022年3月まで)
⇒18歳は未成年なので、
契約を取り消すことができた
(2022年4月以降)
⇒18歳は成年なので、
契約を取り消せない

特に悪質商法や詐欺のような契約には注意！
正しい金融リテラシーを身につけることが重要です！

© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

教材のボリュームは、中学生向けは100分、高校生向けは120分を想定しています。また、重要なスライドには、★マーク(右上)を配置しています。学校で先生が授業を行う際、★マークがついたスライドのみを使用(短縮版)する形で授業展開を行うことも可能です。その場合、教材のボリュームは3分の2程度になります。授業の進行速度も確認しながら、短縮版の活用も検討していただくと幸いです。

POINT2 答えやすい○×クイズ

J-FLEC ④ クイズ (お金を貯めやすくする方法は?) 25★

クイズ

○ 毎月お小遣いを使って残った金額を貯めていくと、お金が貯まりやすい。○か×か?



© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

J-FLEC ④ クイズの答え 26★

答え

×

毎月残ったお金を貯めていく方法だと、
人間の心理的に目の前にあるお金を使ってしまいやすく、
思ったようにお金を貯めるのは難しいと言われています。
「毎月500円を貯金する」「お年玉の半分は貯金する」など、
ルールを決めるとお金が貯まりやすくなります!



© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

○×形式で答えやすいお金に関するクイズを制作しました。講師と受講生、先生と生徒の間で意見を聞く等コミュニケーションを取りながら授業が行えるようになっていきます。

POINT3 年代に合わせた金融知識を学べる

J-FLEC ⑤ 人にケガをさせたり物を壊してしまうリスクを知ろう 43



自転車を運転していて事故を起こしてしまった

人の物を壊してしまった

自転車では、小学生から高校生くらいの年齢の人が起こした事故でも、被害者への賠償金が1億円近くとなるケースもあります。
自転車の運転には特に気をつけましょう。
人の物を壊してしまった時は、すぐに保護者の人等に相談しましょう。

© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

J-FLEC ⑤ 社会保険の仕組み 63

○社会保険は、『保険料（収入に応じて負担）と税金で運営』され、社会全体で支え合う仕組みです。

○「公的年金」は、収入減少というリスクに対して収入面で保障する制度で、長生きをした（老齢年金）、障害を負った（障害年金）、親など家計を支えていた方が亡くなった（遺族年金）ときなどに受給できます。

国民皆年金

障害年金・遺族年金は、若くても、要件を満たせば、年金受取の対象。

○「公的医療保険」は、病気・ケガなどで通院・入院をしたときなどに給付され、健康保険組合などを通じ国民全員が加入しています。

国民皆保険

○「公的介護保険」は、要介護認定者等の介護サービスに係る費用を給付しています。

40歳以上が対象

© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

中学生向けでは、自分も当事者になりえる金融トラブルを事例付きで学べます。高校生向けでは、事例だけでなく、自身のライフプラン設計や、給与明細の見方、社会保険の仕組みや資産形成の基本など、社会の一員として生きていくために必要な金融知識を学べる内容になっています。

2024年10月から講師派遣を開始し、同年10月末時点で約3300名の中学生、高校生が受講

——J-FLECの活動、お取組について教えてください。

本教材を活用した講師派遣（出張授業）を2024年10月から開始し、10月末までで、すでに中学校・高校合わせて約3300名の方に受講いただきました（申込時点の参加人数をもとに算出）。本教材は対面授業・オンライン授業いずれも対応可能で、授業にあたっては、派遣先のご要望や授業時間も踏まえ、必要に応じて講義内容を調整しています。

本教材はJ-FLEC公式ウェブサイトでも公開していますので、教員の方々が本教材をもとにご自身で授業を行っていただくことも可能です。また、今後、教員の方を対象に、本教材を授業で活用いただく際のポイント等をお伝えするセミナー等も開催する予定です。

——受講生の感想を教えてください。

実際に授業を受けた生徒さんからは、「お金の大切さや生活設計・家計管理などの意義を改めて理解するとともに、今後、自分でもお金の管理をしっかりと行っていきたいと考えようになった」、「将来に役立つ話であり、今回授業を受けたことで、お金に関する心配が少し減った」、「今までお金のことはあまり考えてこなかったが、『よりよい生活ができる』ようなお金の使い方について考えるきっかけになった」、「図やクイズなども活用した分かりやすい内容で、楽しみながら学べた」など、大変好評をいただいています。

活用事例取材

神奈川県立横浜修悠館高等学校で、
高校3年生に行われた出張授業(対面形式)の様子を取材しました。

令和7年度から新社会人になる生徒たちに金融知識・トラブル事例をレクチャー

2024年10月8日、神奈川県立横浜修悠館高等学校で実施された出張授業では、高校卒業後就職が決まっている11人の生徒が、クレジットカード支払い等の金融トラブルや、巧妙な金融詐欺の手口などについて講義を受けました。

生徒たちからは「これからクレジットカードを使用する際は、金額だけでなく支払いの方法(リボ払いなど)までチェックしたい」、「たとえ友達であっても儲け話等の話を持ち掛けられた際は注意したい」と、感想を述べていました。

出張授業を行った講師の高木典子J-FLEC認定アドバイザーは、

「金融詐欺等の手口は年々巧妙化しており、事例を知っているだけで対処できないこともたくさんあります。一人ひとりが怪しいかどうかを判断するためにも、ベースとなる金融リテラシーを身に付けていくことが、今後ますます重要になってきます。成人年齢の引き下げがあり、18歳から“大人”となった皆さんは、高校を卒業すると保護者の同意がなくても契約を結べてしまいます。トラブルに巻き込まれないためにも、しっかりと自分の力で考えることはもちろんのこと、もしトラブルに巻き込まれてしまった時は、消費者ホットライン(188)等相談先を知っていることが大切です。今回の授業が、これから社会人生活を始める皆さんに、金融リテラシーの重要性を認識していただく機会になったのなら嬉しいです」

と述べました。

今回J-FLECに出張授業を依頼した糸日谷先生は、

「キャリア教育の一環として、出張授業の依頼をさせていただきました。社会経験の少ない新社会人は、トラブルに巻き込まれやすい立場です。今回の授業を通して生徒たちが、社会人として自立していくために必要な金融リテラシーを、身に付けていければと考えています」

と述べました。

出張授業の様子



授業は本教材をスクリーンに投影しながら行った。



担当講師の高木典子J-FLEC認定アドバイザー。

「お金の知識を あなたの力に」 J-FLECが目指す誰一人取り残すことのない 金融経済教育の取組

——J-FLECの今後の活動展望を教えてください。

J-FLECでは、今後も出張授業等通じて、学校現場等における金融経済教育を支援するための取組を行ってまいります。中立的な立場から金融経済教育を広く提供していくことで、誰一人取り残すことなく、みなさん一人ひとりが描くファイナンシャルウェルビーイングの実現を支援するとともに、自立的で持続可能な生活を送ることができる社会づくりに貢献していきたいと考えています。

——消費者教育を担う先生方や、一般消費者の皆さんにメッセージをお願いします。

金融経済教育を推進する上では、消費者教育推進法等に基づく消費者教育と連携し、国民の皆様には、消費生活の基礎や、生活を設計・管理する習慣・能力、金融トラブルへの対応方法、外部の知見の活用等について理解を深めていただくことが重要です。

そこで、J-FLECとしても、例えば消費者庁や関係団体の皆様から、消費者トラブル事例等の情報を共有いただく、J-FLECが使用する教材の作成・活用方法等について助言をいただくなど、日頃、消費者教育に携わる関係者の皆様としっかりと連携をして取組を進めていきたいと考えています。

私たちは、消費、貯蓄、住宅ローン、保険、年金、資産運用など、様々な場面で金融を利用して生活を営んでいます。他方、そのようなお金について真剣に向き合ったことがある方は、それほど多くないのではないのでしょうか。

「お金の知識を あなたの力に」。これが、J-FLECのキャッチフレーズです。

金融リテラシーの向上とは、単に知識を習得するにとどまらず、その知識を適切な判断や行動に結びつけられるようになることを意味します。

J-FLECは、官民一体の中立的な組織として、国民の皆様の立場に立って、お金に関する様々な学びをお手伝いしていきます。J-FLECの活動については、J-FLECの公式ウェブサイト等でもお知らせしていますので、ぜひチェックしてみてください。

——ありがとうございました。

もっと知りたい方はこちら！

J-FLEC公式ウェブサイト：<https://www.j-flec.go.jp/>

小学生(低学年)スライド教材:

https://www.j-flec.go.jp/materials/standard_primaryschool_1/

小学生(中学年)スライド教材:

https://www.j-flec.go.jp/materials/standard_primaryschool_2/

小学生(高学年)スライド教材:

https://www.j-flec.go.jp/materials/standard_primaryschool_3/

大学生用スライド教材:

https://www.j-flec.go.jp/materials/standard_university/

10代～20代若手社会人スライド教材:

https://www.j-flec.go.jp/materials/standard_young/

30代～40代中堅社会人スライド教材:

https://www.j-flec.go.jp/materials/standard_mid-career/

50代以上ベテラン社会人スライド教材:

https://www.j-flec.go.jp/materials/standard_veteran/

60代以上シニア層用スライド教材:

https://www.j-flec.go.jp/materials/standard_senior/